

一般質問

2月24日、25日の本会議で、20人の議員が、市政全般について、一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

AEDの「三鷹」設置推進と設置場所の周知を図れ



政新クラブ 渥美 典尚 議員

議員 AED（自動体外式除細動器）の公共施設等への設置が進み、その数は市内61カ所に上ると聞く。しかし、突然の心臓停止を発生する時間帯は早朝や夜間が多いとも言われ、通常の公共施設が閉館時間帯のためAEDを使用できない恐れがある。その点、24時間24日営業のコンビニエンスストアはAEDの設置場所として最適であり、積極的に設置を推進すべきだ。現在の設置状況を聞く。

市長 コンビニエンスストアの店主と本部の協力を得て、1つの店舗に設置した。議員 今後の設置拡充の方針について、考えを伺う。

市長 コンビニエンスストアの店主と本部の協力を得て、1つの店舗に設置した。議員 今後の設置拡充の方針について、考えを伺う。

課題の早期発見・早期解決で市民満足度の向上を図れ



政新クラブ 伊東 光則 議員

議員 スポーツ施設の有料化や予約のシステム化により、高齢者の負担が重くなっている。対応策を伺う。

生涯学習担当部長 より利便性を高めるよう工夫し、施設利用料の減免について十分検討していきたい。

車利用者が多い。駅周辺の駐輪場対策の課題を伺う。

市長 三鷹駅南口の駐輪台数は概ね充足しているが、再開発予定地や借地も多く今後の確保が課題となる。他駅についても隣接市区との連携により駐輪台数不足の解決に取り組んでいる。

議員 地デジ対策として本市が開設した地デジ・電話サポートセンターへの問い合わせ状況と対応を伺う。

人と人の「絆」を大切に三鷹のふるさとづくりを



政新クラブ 土屋 健一 議員

議員 市長は、都市再生とコミュニティ創生により、現在も将来も「選ばれる」「品格のある」自治体を目指すとしているが、誰に選ばれる三鷹市にしたいと考えているのか。所見を伺う。

市長 現在住んでいる市民に、将来も「住み続けたいまち」として選んでもらうことが重要と考えている。議員 子どもたちの「ふるさとづくり」には、世代を超えた市民が心豊かにふれあえる居場所づくりが不可欠と考える。所見を伺う。

議員 子どもたちの「ふるさとづくり」には、世代を超えた市民が心豊かにふれあえる居場所づくりが不可欠と考える。所見を伺う。

みたかの未来を見据えたまちづくりの構想を問う



政新クラブ 加藤 浩司 議員

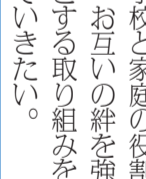
議員 市内の都市計画道路が、将来的に「三鷹の未来に必要な道路なのか」検証することが重要だ。都市計

踏まえ、市施行の都市計画道路の整備を進めている。

議員 慢性的な交通渋滞を引き起こしている道路などは早期に整備すべきと考える。都市計画道路の優先整備の考え方を伺う。

市長 交通渋滞を解消し、市民が最寄り駅に行くためのバスの運行や自転車の安全走行を確保できるような整備は重要と考えている。

農を生かした緑豊かなまちづくりを



政新クラブ 伊藤 俊明 議員

議員 潤いと安らぎのある豊かなまちづくりや新鮮で安全安心な農産物の確保のため、都市農業の役割がますます重要だ。所見を伺う。

市長 都市農業の発展を重要課題と認識し、財政支援を伴うしっかりとした都市農業施策を進めていく。

議員 農地行政、都市計画制度、土地税制の総合的な改善を国に求めるべきだ。

市長 生産緑地制度、相続税納税猶予制度、都市計画

「コミュニティ創生と行政革新度日本一の市政を



政新クラブ 宍戸 治重 議員

議員 現政権のマニフェスト修正への批判が相次ぎ、マニフェスト政治は国民の信頼を失っている。そのあり方について所見を伺う。

市長 投票の重みを尊重しなければならぬ。その推進や見直しでの説明責任が問われてくると認識する。

議員 市長選挙のマニフェストについて所見を伺う。

市長 まちづくりの理念とビジョンの具体的な提示がその後の検証を可能とし、重要な取り組みと考える。

議員 市長は第4次基本計画について、計画期間を12年、改定時期を市長任期と連動させて4年ごととする方針を示している。計画行

議員 市長と議会が対峙・衝突するかつてない構図が各地に広がり、首長が暴走する事態が発生している。二元代表制を無視したり、議論で妥協できずに選挙で決着をつける政治手法について、市長はどのように考えるか。



農のある三鷹の風景